

ボタン・ドア 触れず操作 プッシュわん 徳島の企業開発



ドアなどを触れずに開けることができる「プッシュわん」

コロナ禍で役立つアイデア商品の開発が進む中、精密機械部品製造の「国光精機」(徳島市)は、タッチパネルやボタンなどを直接触れずに操作できるストラップ状のグッズ「プッシュわん」を製作した。新型コ

ロनावirusの感染対策に役立つという。プッシュわんは縦5・5センチ、横7・9センチ、厚さ約1センチの樹脂製で、重さは約20グラムをかたどっている。ストラップや足などの部分を使い、自動販売機などのボタンを

押したり、ドアノブを引っ張ったりすることが出来る。駅の券売機や現金自動預け払い機(ATM)のタッチパネルも操作可能だ。触れた部分は水洗いできる。石田政良社長がコロナ禍で間接接触を避けるため、つまようじなどでエレベーターのボタンを操作する人が増えたのを知ったのが開発のきっかけ。5月頃から着手し、8月に完成した。商標登録を済ませており、ネットや店頭での販売を目指す。希望小売価格は税別800円。石田社長は「徳島だけでなく、感染リスクの高い東京、大阪でも利用してほしい」と話している。問い合わせは同社の88・631・7317。